

アカデミー文京外 6 施設  
指定管理者の管理運営に対する評価報告書  
【令和 6 年度実績】

令和 7 年 7 月  
アカデミー関連施設指定管理者評価検討会



(2) 自主事業（指定管理者の費用と責任で実施する事業）

年度		3	4	5	6	7
収 入	チケット収入	0	21,487,190	127,629,090	54,898,100	
	助成金収入	0	404,000	0	0	
	手数料収入	7,514	193,759	702,096	660,548	
	広告料収入	3,927,540	4,417,220	5,537,960	5,427,680	
	受講料収入	459,401	686,100	718,600	570,600	
	補助金収入	0	0	1,202,434	1,207,095	
	負担金収入	0	0	0	0	
	寄付金収入	100,000	50,000	50,000	150,000	
	協賛金収入	0	0	0	0	
	受取利息	898,703	894,446	887,053	1,109,089	
	自動販売機手数料収入	458,604	745,741	1,053,843	1,177,857	
	その他（雑収益）	559,187	6,001,836	3,835,945	3,510,512	
	合計（A）	6,410,949	34,880,292	141,617,021	68,711,481	0
支 出	事業運営費等	28,264,438	48,287,844	57,477,159	52,890,150	
	芸術鑑賞事業等	493,045	34,615,784	156,899,685	59,030,555	
	自主事業成果配分	320,000	521,564	737,000	824,000	
	合計（B）	29,077,483	83,425,192	215,113,844	112,744,705	0
収支（A）－（B）		-22,666,534	-48,544,900	-73,496,823	-44,033,224	0
<b>【特記事項】</b> ・自主事業成果配分とは、基本協定書第27条の規定に基づく、自主事業による収入額の還元で、第1項の自主事業に係る利益還元と、第2項の自動販売機に係る利益還元を足したものである。 ・今期は自動販売機に係る利益還元のみ発生した。						

3 評価検討会委員

	役職	委員名
1	座長	アカデミー推進部長 長塚 隆史
2	副座長	アカデミー推進部アカデミー推進課長 吉本 眞二
3	委員	アカデミー推進部観光・都市交流担当課長 阿部 遼太郎
4	委員	アカデミー推進部スポーツ振興課長 矢部 裕二
5	委員	黒田 千恵子（施設利用者）
6	委員	下津 弘子（施設利用者）

4 評価の対象とした資料

	評価の対象とした資料名	評価項目番号
1	指定管理業務要求水準書	①
2	基本協定書・令和6年度協定書	①
3	財団の運営方針・事業運営及び事業計画について	⑥⑫⑯⑰⑱
4	令和6年度 事業計画	①②④⑨
	指定管理事業	
	自主事業等	
5	令和6年度 事業報告（総括）	①②④⑧⑨⑩⑲
6	指定管理事業 事業報告	①⑦⑨
	シビックホール	
	生涯学習	
	施設の管理運営	
	指定管理事業決算	
7	自主事業等 事業報告	①②④⑩
	シビックホール（自主事業）	
	シビックホール（共催・後援・協力事業）	
	生涯学習	
	施設の管理運営	
	その他	
	自主事業決算	
8	ホール事業に関するアンケート調査結果	③⑤
9	生涯学習事業に関するアンケート調査結果	③⑤
10	響きの森文京公会堂外7施設の施設利用に関するアンケート調査結果	③⑤
11	意見・要望とその対応（利用者懇談会結果を含む）	③⑥
12	情報公開請求一覧	⑰
13	情報公開に関する規程	⑰
14	個人情報の保護に関する規程	⑯
15	研修等一覧	⑬⑱
16	収納金内訳書兼収納金預入報告書（日計表）	⑪
17	清掃業務委託作業確認書	⑭
18	指定管理施設の保守点検・修繕及び備品購入実績一覧	⑭⑮
19	備品台帳	⑮
20	緊急連絡網	⑱
21	自衛消防隊活動マニュアル	⑱
22	急病人・怪我人発生時の対応	⑱
23	緊急対応等報告書	⑱
24	前年度の評価結果 改善指摘事項の改善策	
25	資料	①②④
	(1)ホール事業 指定管理事業	
	(2)ホール事業 自主事業	
	(3)生涯学習推進事業	
	(4)シビックホールメンバーズ プレミアムコンテンツ	
26	所管課によるモニタリング結果	⑭

5 評価結果(案)

(1) 分野評価

評価分野	評価得点	評価項目	配点	評価	得点
サービス向上の有効性【配点40点】	A 36点	① 協定書、業務要求水準書等で区が求めた事業が適切に実施されたか。	4	4	4
		② 区が求めた事業以外に、住民サービスの向上を図るための自主事業が積極的に計画され、事業計画書や企画提案書に沿って適切に実施しているか。	8	4	8
		③ 利用者懇談会や利用者アンケートにより、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取組が行われたか。	4	4	4
		④ 区民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	4	3	3
		⑤ 利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	8	4	8
		⑥ 利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	4	3	3
		⑦ 利用者数、稼働率等の実績が、当該指定期間開始前と比べて同程度か。	8	3	6
	【評価理由】 ①生涯学習推進事業については、区の要求水準を踏まえ、新たな講座に取り組むなど積極的に事業を展開した。芸術鑑賞事業については、クラシックや伝統芸能、子ども向け事業に加え、区民参加演劇、区内大学と連携したシビックコンサートなど、様々なジャンルの事業を実施している。 ②令和6年12月のドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団公演を皮切りに、区と協力のもとシビックホール25周年記念事業を展開している。また引きこもり支援団体と協力したシビックホール公演招待事業や、事業協定を結ぶ団体とアウトリーチや文化育成の各事業を実施し、区民ニーズに即した展開によりそれぞれ大変好評である。 ③利用者からの意見を踏まえ、一部事業の開演時間を前倒ししたほか、小ホールの自動販売機についても、ホール内に持込が可能なものを販売するなどの改善を行った。 ④広報紙「スクエア」やホームページへの掲載だけでなく、インスタグラムを開設しSNSを含め、積極的な広報を行っている。事業周知に留まらず、各施設における改善点も広報すべきと考える。また、更なるデジタル化を進め、より幅広い年齢層に対応していくことを望む。 ⑤施設の全体的な満足度において93.5%が「満足」か「やや満足」の評価をしているなど、全体的に高い評価を得ている。 ⑥対応、報告ともに適切に行っている。 ⑦大ホールでは90%を超えるなど、大小ホールともに高い稼働率を維持している。地域アカデミーについては、コロナ前の水準には戻っていないものの4館中3館で昨年度より稼働率が向上している。				
経費の効率性【配点12点】	A 12点	⑧ 経費節減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	4	4	4
		⑨ 指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	4	4	4
		⑩ 収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。	4	4	4
	【評価理由】 ⑧ペーパーレス化の一環として、引き続き事業アンケートをチラシ等に掲載した二次元コードによりメールへ誘導したほか、令和6年度から電子決済を本格導入し、コピー用紙の購入量を20%以上削減した。 ⑨予算執行においては、適宜、契約時に入札及び見積競争を行うことで生じた契約差金等を区と協議の上で活用し、施設の漏水対応などの必要性の高い修繕を積極的に行った。 ⑩クレジットカードの会報誌を活用するなど新たな広報媒体を積極的に活用することで券売率の向上に取り組んだ。また地域アカデミーに設置の自動販売機を利用者ニーズにあわせた品揃えにすることで、売り上げも前年度から増加し、654,000円を区に返還した。				

5 評価結果(案)

(1) 分野評価

評価分野	評価得点	評価項目	配点	評価	得点
管理運営の適正性【配点36点】	B 30点	⑪ 金銭の管理が適正に行われたか。	4	4	4
		⑫ サービスを低下させない適切な人員配置が行われたか。	4	3	3
		⑬ 職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	4	4	4
		⑭ 利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	4	4	4
		⑮ 備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	4	3	3
		⑯ 個人情報の保護に関する法律の規定を遵守し、利用者の個人情報の適正な管理のために必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及び毀損等の事故が起きていないか。	4	3	3
		⑰ 文京区情報公開条例の趣旨にのっとり、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または区から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	4	3	3
		⑱ 事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	4	3	3
		⑲ 省エネやごみの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	4	3	3
	【評価理由】 ⑪通年かつ長時間に亘り窓口を開設するため、日計表を複数の職員で1日4回決めて確認するなど、金銭管理を適切に行っている。 ⑫専門職種を委託する等、効率性、専門性を重視した適切な人員配置を行っている。 ⑬OJTを取り入れた内部研修と、接遇や公益認定法改正に関するものは外部研修で行うなど、効率よく積極的に知識習得を図っている。 ⑭施設の保守、清掃等を適切に行い、修繕については、常に区と情報共有を図り、協議の上、積極的に対応している。 ⑮備品台帳に基づき、計画的な現品確認の実施に努めている。 ⑯区に準じた規程を設け、適切に管理している。 ⑰区に準じた規程を設け、適切に管理しており、情報公開の体制も整っている。 ⑱対応マニュアルを整備の上、定期的に職員訓練を実施し、緊急時に適切に対応できるよう備えている。また、令和6年度は、小ホールにおいて、催事中の災害発生を想定した避難訓練コンサートを実施した。 ⑲裏紙利用の徹底やグループウェアの利活用、事業アンケートのデジタル化や広報活動における積極的なSNSの活用、令和6年度から電子決済を本格導入するなどペーパーレス化を進めている。				
業務の改善性【配点12点】		⑳ 前回の評価（一次評価及び二次評価）を受けて、適切な改善が図られたか。	—	—	—
	《前年度総合評価における改善すべき事項》  【評価理由】				

5 評価結果(案)

(1) 分野評価

(2) 総合評価

評 価	B	得 点	78点 / 88点
<div>【所見】</div> <div><div>・今指定管理期間、継続して全ての分野において、協定書や業務要求水準書等で区が求めた水準を満たす又は超える成果があった。</div><div>・指定管理事業に留まらず、主に自主事業において令和6年12月からシビックホール25周年事業を実施したほか、生涯学習分野においては、区の友好都市や関わりのある人物にまつわる講座を積極的に行った点は高く評価できる。</div><div>・一方で、地域アカデミーにおいては、アンケート実施で高い満足度が得られ、昨年度より稼働率が向上している施設が多いものの、一部に稼働率が回復しきれていない現状では、積極的な事業展開と工夫により、活動団体のさらなる活性化などによる利用促進に努められたい。</div></div> <div>【改善すべき事項】</div> <div>なし</div>			



5 評価結果(案)

(1) 分野評価

《評価結果の見方》

(1) 分野評価

評価項目ごとに4段階評価を行い、その結果に応じた乗率を各評価項目の配点に乗じて採点し、各評価分野の合計得点を5段階評価します。

① 4段階評価・乗率

評 価	評価内容及び基準	乗 率
4：優良	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を超える成果がある。	100%
3：適当	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を満たしている。	75%
2：課題あり	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を満たしているが、一部に課題がある。	50%
1：要改善	協定書、業務要求水準書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	0%

② 5段階評価

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、特に優れている。 (分野の合計得点が、配点の90%以上)
B	当該分野について、優れている。 (分野の合計得点が、配点の80%以上90%未満)
C	当該分野について、おおむね適正である。 (分野の合計得点が、配点の60%以上80%未満)
D	当該分野について、改善が必要である。 (分野の合計得点が、配点の40%以上60%未満)
E	当該分野について、相当な改善が必要である。 (分野の合計得点が、配点の40%未満)

(2) 総合評価

各評価分野の得点を合計し、その合計得点を5段階評価します。

評 価	評価内容及び基準
A	総合評価の結果、特に優れている。 (合計得点が、配点の90%以上)
B	総合評価の結果、優れている。 (合計得点が、配点の80%以上90%未満)
C	総合評価の結果、おおむね適正である。 (合計得点が、配点の60%以上80%未満)
D	総合評価の結果、改善が必要である。 (合計得点が、配点の40%以上60%未満)
E	総合評価の結果、相当な改善が必要である。 (合計得点が、配点の40%未満)